



入学を祝して

歯学部長 前田 健康

晴れやかに入学の日を迎えられたみなさん、そして保護者ならびにご家族の皆様、ご入学、誠にありがとうございます。新潟大学歯学部に入された皆さんに、教職員を代表して、心からお祝いと歓迎の意を表します。新潟大学歯学部で新入生の皆さんの能力をさらに大きく伸ばすことができるよう、私たち教職員も全力を尽くしたいと思います。

みなさんは新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大という厳しい環境の中、熾烈な競争を勝ち抜き、入学の喜びを噛みしめていると思います。受験勉強が人生を燃焼させて抜け殻を生んでしまう、いわゆる燃え尽き症候群という言葉聞いたことがあるかと思いますが、もちろん、休憩や充電期間が必要なのは当然ですが、みなさんが入学した歯学部を卒業したあかつきには、国家試験に合格しなければなりません。そのためには、常日頃の精進が必要です。嘶家が真打ちに昇進し、お披露目の会を開く際に、師匠連は必ず、「本人、これからも勉強致しまして」とお祝いの披露口上を述べます。受験戦争を勝ち抜いたあとも、勉強は続きます。また、卒業しても勉強は一生つづきます。

新潟大学歯学部の教育目標は、「包括的医療を行うことのできる有能かつ感性豊かな歯科医師の育成、歯科医学発展のために指導的な人材および保健・医療・福祉に貢献する専門職業人の育成」であり、「学生自身が自ら学ぶ」ということを教育の柱としています。諸君がこれから大学で学ぶ講義、実習の内容は社会に出るときのスタートラインに立つための内容でしかありません。人生100年時代といわれる長い人生を過ごすしていくには、日々進歩する学問を常に修得する必要がある

ます。そのためには自ら学んでいくという態度が不可欠です。また、医療・福祉を目指す者は、問題を発見し、自ら学習し、問題を解決していかなければなりません。

COVID-19の拡大により、教育活動も含め、日常生活にも大幅な制限が加えられています。昨年度は、私ども歯学部でも、オンライン講義等による非対面型講義が実施され、実習・演習の開始時期が延期となるとともに、数々の行事が中止となりました。このような中、私ども教職員は通常と同じ教育効果をあげるべく努力しているわけですが、教員の力だけで今まで以上の教育効果をあげることができるかは、はなはだ疑問です。教育とは教員から学生に知識を授けることと思いがちが、辞書をひもとくと「教育とは知識・技能を修得させたり、人間形成を図ったりする目的で人に様々なことを教えること」とあります。一方、教育を成功させるには教育を受ける者の重要性も指摘され、「教育は教えられる者がその教える者の行為やその内容を受け入れることによって、はじめて成り立つ」と記しているように、教育とは教員と学生の共同作業です。我々教職員と共に、日々進歩する歯科医学、口腔保健医療・福祉を学び、自分の将来の夢を実現できるよう、努力しましょう。

このコロナ禍の中、歯学部専門科目では、教職員はもとより、学生の高い自覚により、いち早く対面型講義、実習を再開し、新学期からもこの方針を貫いていきます。コロナ禍での大学教育は学生諸君の良識ある行動によって支えられています。制限のある時期ですが、勉強だけでなく、クラブ活動、ボランティア活動などさまざまな社会経験をし、歯学部以外にも多くの友人を作り、教

養のある社会人となるよう人間性を磨いてほしい
と思います。

新しい生活様式の下、これらの活動は現時点で
はこれまでのようにできないかもしれません。簡
単ではないからこそ、皆さんの柔軟な発想が求め

られ、アイデアが活かされる貴重な経験となりま
す。そして、社会の期待に応える医療人を目指
し、これから充実した学生生活を過ごし、卒業時
に今年度新入生および保護者の皆様全員で喜びを
分かち合いたいと思っています。





歯学部入学おめでとう

新潟大学医歯学総合病院 副病院長 小林 正 治

令和3年度の新入生の皆さん、ご入学誠におめでとうございます。また、ご親族の皆様にも心よりお祝いを申し上げます。

昨年より1年余りにわたる新型コロナウイルス感染症の拡大というパンデミックに、世界中が振り回されてきました。皆さんも、通常の授業や生活が送れないという特殊な状況の中で、苦労やストレスは相当のものだったと思います。そうした辛い思いの中、不安と闘いながら、逆境をはねのけ、克服されての入学ですので、その喜びも一入かと思えます。

皆さんは学びの新たなステージに入られました。この節目の時に、今一度皆さんがこれから学ぶ学問について、どのように対峙してモチベーションを高めていくべきかを考えてみてください。学問の面白味や醍醐味は、その入り口では見出しにくいものです。学び、そして探究するためのエネルギーは、皆さん自身の志や信念から生み出されるものです。そして、そのエネルギーの質と量こそが、皆さんの大学での学びを飛躍させる決定的要因となります。知的好奇心と貪欲な探究心をもって、そのエネルギーをわれわれが提供する教育プログラムへの挑戦に注ぎ、その過程で新たな興味を引き起こす循環を作ってもらいたいと思います。

私が好きな本に「14歳からの哲学 考えるための教科書」というものがあります。著者は池田晶子さんという哲学者で、中学や高校での副読本にも採用されているようですので、読まれた方もいるかもしれませんが、私は残念ながら14歳ではな

く44歳の時にこの本に出会いました。答えを教えてくださいの本ではありませんが、人生の考え方を教えてくれる本です。大学での生活は、皆さんがこれからの人生を生きていくためのアイデンティティを確立する時期になります。皆さん自身の様々な経験の中で、いろいろなことを考え、知性と感性を育んでいただきたいと思います。また、いろいろなことにチャレンジをしてください。失敗や挫折も、人として成長するための糧となります。そして、人間性豊かな医療人としてのアイデンティティを確立していただきたいと思います。

皆さんが、新潟大学歯学部での学業を順調に進まれますと、新潟大学医歯学総合病院において臨床実習を受けていただくこととなります。新潟大学医歯学総合病院は、我が国有数の伝統をもつ基幹病院でありますとともに歯学部・医学部の教育病院でもあり、多くの医療人を輩出してきました。本院の理念は、「生命と個人の尊厳を重んじ、質の高い医療を提供するとともに、人間性豊かな医療人を育成する」というものであります。われわれは、優秀な医療人を育てたいと考え、診療参加型の教育プログラムを用意して皆さんを待っています。

新潟は、豊かな自然に囲まれ、豊富な食材とその美味しさは目を見張るものがあります。また、様々な伝統文化も根付いた魅力ある街でもあります。皆さんのこれからの活躍に期待するとともに、皆さんが新潟の地で楽しく充実した学生生活を送ってくれることを願っています。